

アジア3資産ファンド

[分配コース・資産形成コース]

<愛称：アジアンスイーツ>

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除くアジア諸国（地域を含みます。）の株式、公社債および不動産投資信託証券に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を図ることを目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年7月16日～2021年1月15日

[分配コース]

第156期	決算日：2020年8月17日	第159期	決算日：2020年11月16日
第157期	決算日：2020年9月15日	第160期	決算日：2020年12月15日
第158期	決算日：2020年10月15日	第161期	決算日：2021年1月15日
第161期末 (2021年1月15日)	基準価額	9,293円	
	純資産総額	1,738百万円	
第156期～ 第161期	騰落率	9.3%	
	分配金合計	180円	

[資産形成コース]

第27期		決算日：2021年1月15日
第27期末 (2021年1月15日)	基準価額	13,132円
	純資産総額	1,349百万円
第27期	騰落率	9.2%
	分配金合計	140円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

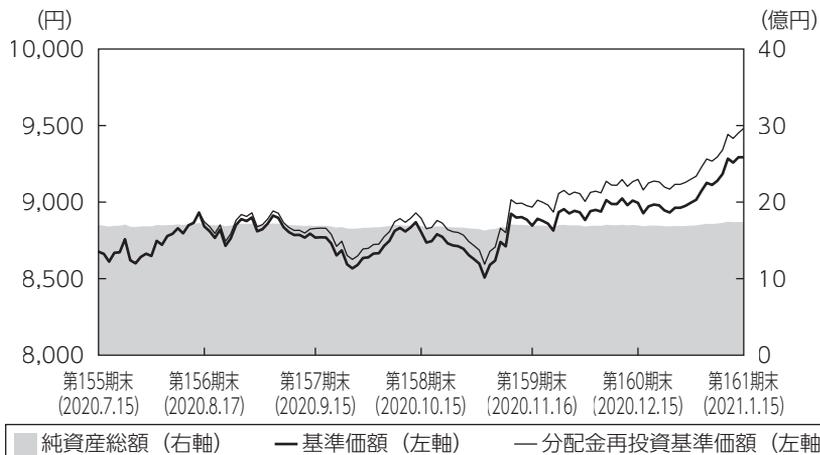
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

■ アジア3資産ファンド 分配コース

■ 基準価額等の推移



第156期首： 8,676円
 第161期末： 9,293円
 (既払分配金180円)
 騰落率： 9.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主として、日本を除くアジア諸国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）へ、ほぼ基本配分比率に沿って投資を行った結果、株式やREIT市場が上昇したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入マザーファンド	騰落率
アジア好配当株マザーファンド	20.8%
アジア債券マザーファンド	0.7%
アジアREITマザーファンド	9.7%

1 万口当たりの費用明細

項目	第156期～第161期		項目の概要
	(2020年7月16日 ～2021年1月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	68円	0.775%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,837円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(40)	(0.454)	
(販売会社)	(25)	(0.288)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	5	0.060	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(4)	(0.040)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.010)	
(投資証券)	(1)	(0.010)	
(c) 有価証券取引税	3	0.031	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.026)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.004)	
(d) その他費用	11	0.122	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(9)	(0.099)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(2)	(0.022)	
合計	87	0.988	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

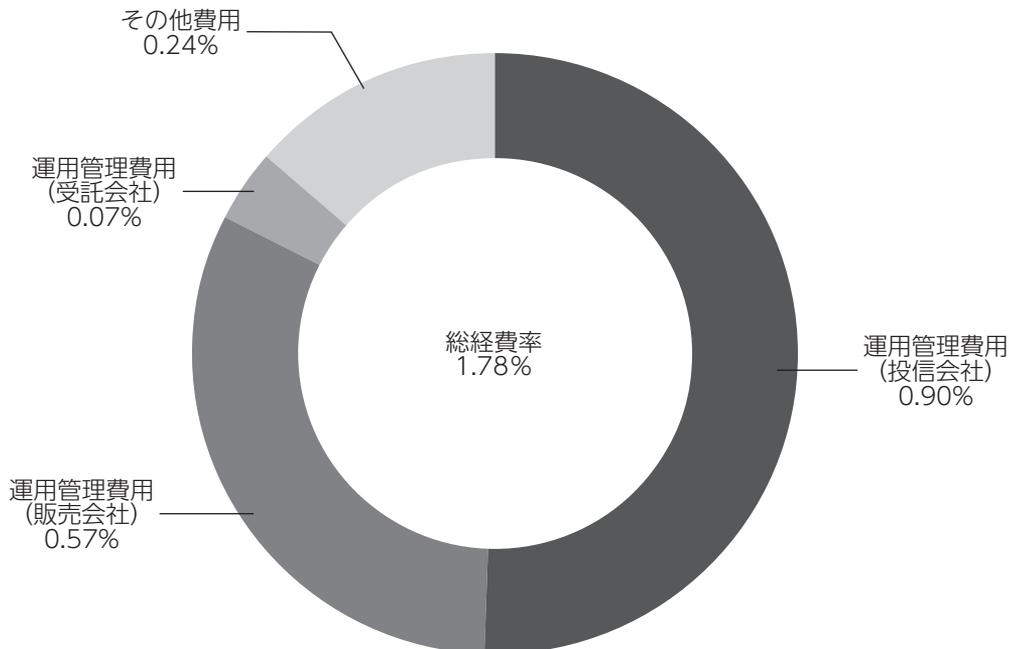
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



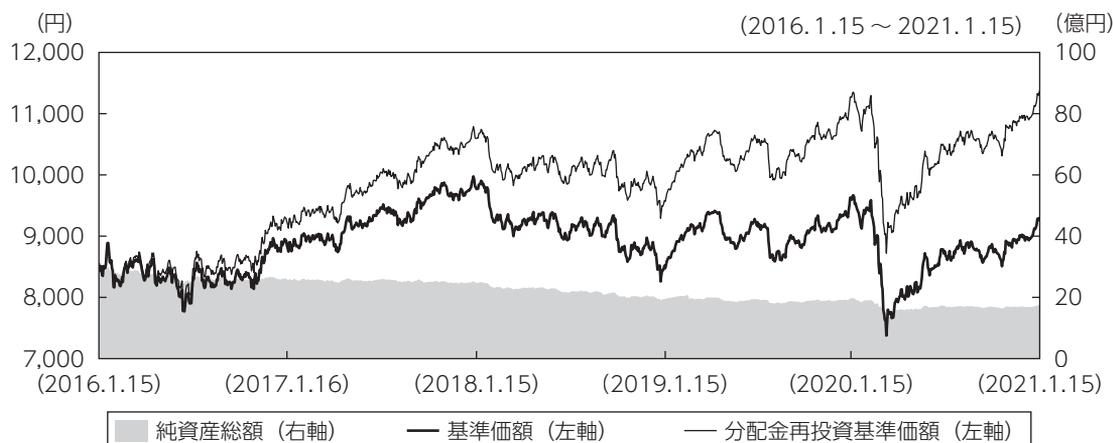
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年1月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

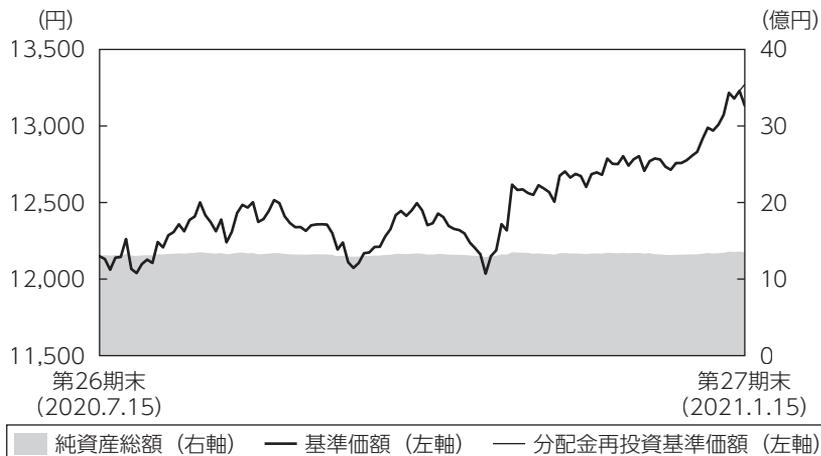
	2016年1月15日 期首	2017年1月16日 決算日	2018年1月15日 決算日	2019年1月15日 決算日	2020年1月15日 決算日	2021年1月15日 決算日
基準価額 (分配後) (円)	8,547	8,846	9,768	8,475	9,597	9,293
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.0	14.8	△9.7	17.8	0.9
M S C I A C アジア指数 (除く日本・円ベース) の騰落率 (%)	—	14.6	33.9	△20.8	19.6	18.9
J P モルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	3.6	1.1	△2.7	13.1	△1.0
S & P シンガポール R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	12.7	31.0	△5.8	26.8	△8.1
S & P 香港 R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	18.4	30.5	10.8	9.1	△17.0
純資産総額 (百万円)	2,893	2,586	2,469	1,943	1,966	1,738

(注1) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。M S C I A C アジア指数 (除く日本・円ベース)、J P モルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)、S & P シンガポール R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) および S & P 香港 R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) は当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数ですが、投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。各指数については後掲の「当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について」をご参照ください。

(注2) 各指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

■ 基準価額等の推移



第27期首：12,149円
 第27期末：13,132円
 (既払分配金140円)
 騰落率：9.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主として、日本を除くアジア諸国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）へ、ほぼ基本配分比率に沿って投資を行った結果、株式やREIT市場が上昇したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入マザーファンド	騰落率
アジア好配当株マザーファンド	20.8%
アジア債券マザーファンド	0.7%
アジアREITマザーファンド	9.7%

1 万口当たりの費用明細

項目	第27期		項目の概要
	(2020年7月16日 ～2021年1月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	97円	0.776%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,474円です。
(投信会社)	(57)	(0.455)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(36)	(0.288)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.040)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.010)	
(投資証券)	(1)	(0.010)	
(c) 有価証券取引税	4	0.031	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.027)	
(投資信託受益証券)	(1)	(0.004)	
(d) その他費用	15	0.122	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(12)	(0.098)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(3)	(0.022)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	123	0.989	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

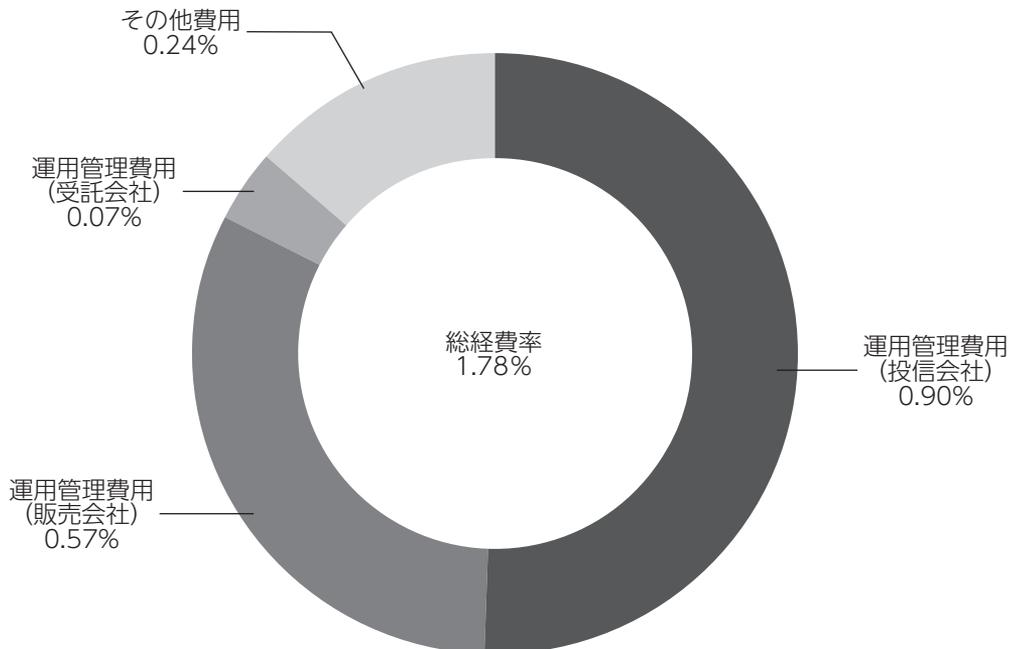
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



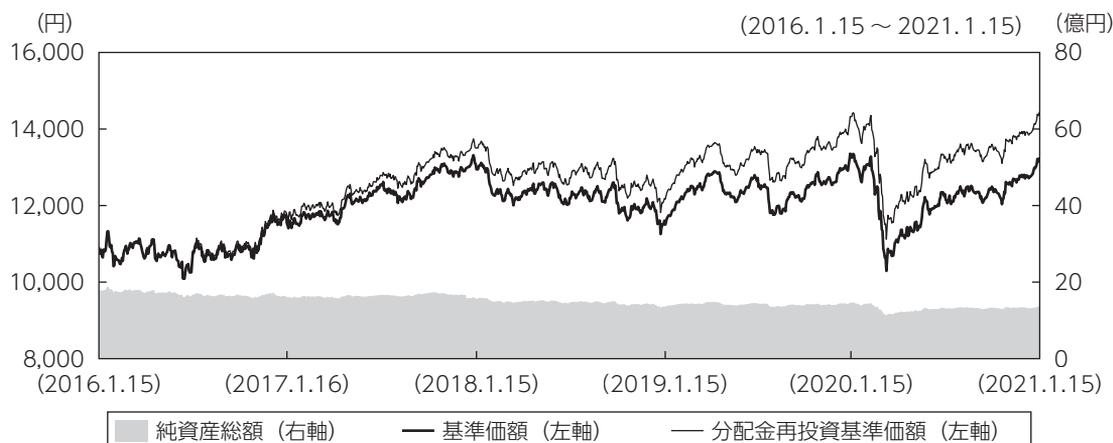
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年1月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2016年1月15日 期首	2017年1月16日 決算日	2018年1月15日 決算日	2019年1月15日 決算日	2020年1月15日 決算日	2021年1月15日 決算日
基準価額 (分配後) (円)	10,895	11,534	12,942	11,498	13,253	13,132
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	220	290	170	270	230
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.9	14.8	△9.9	17.7	0.9
M S C I A C アジア指数 (除く日本・円ベース) の騰落率 (%)	—	14.6	33.9	△20.8	19.6	18.9
J P モルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の騰落率 (%)	—	3.6	1.1	△2.7	13.1	△1.0
S & P シンガポール R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	12.7	31.0	△5.8	26.8	△8.1
S & P 香港 R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) の騰落率 (%)	—	18.4	30.5	10.8	9.1	△17.0
純資産総額 (百万円)	1,802	1,601	1,560	1,355	1,457	1,349

(注1) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。M S C I A C アジア指数 (除く日本・円ベース)、J P モルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)、S & P シンガポール R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) および S & P 香港 R E I T インデックス (トータルリターン・円ベース) は当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数ですが、投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。各指数については後掲の「当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について」をご参照ください。

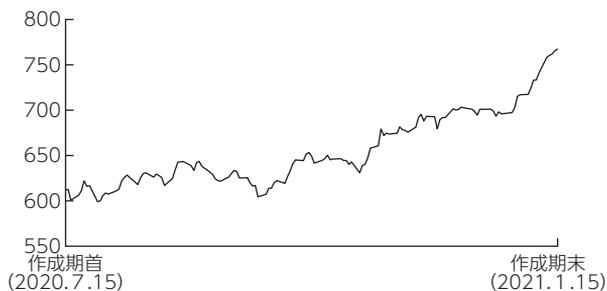
(注2) 各指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています。

■ アジア3資産ファンド [分配コース・資産形成コース]

投資環境

● アジア株式市況

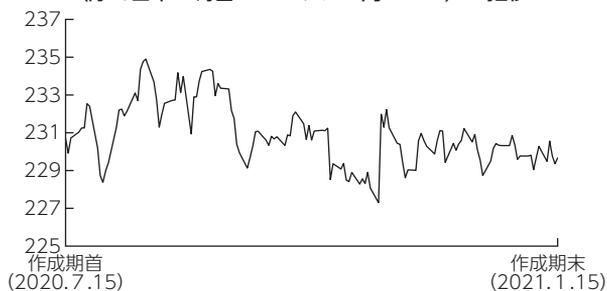
<MSCI ACアジア指数 (除く日本・円ベース) の推移>



アジア株式市場は大幅に上昇しました。新型コロナウイルスの感染拡大が中国・台湾等で収束の方向に向かい、11月以降は、ワクチン実用化への期待が高まったことで、世界的に株式市場の投資センチメントが好転した中、アジア株式市場も景気回復への期待感から、一気に上昇ペースが加速しました。終盤は、中国の一部の企業群が、中国当局からの規制圧力や米国からの投資規制の影響を受け、軟調に推移する展開となりました。

● アジア債券市況

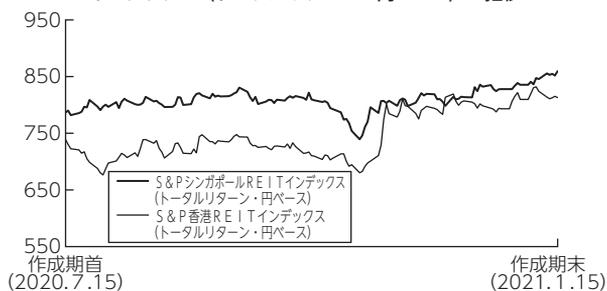
<JPモルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース) の推移>



アジアの米ドル建て債券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大状況や景気への影響を睨む展開となる中、世界的な金融緩和政策などを背景に堅調な推移となりました。作成期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発が進展し、徐々に実用化が開始されたことから投資家のリスク選好の動きが見られたこともあり、堅調な動きが継続しました。このような中、投資家のリスク選好の動きを背景に投機的格付国の上昇が目立つ流れとなりました。

●アジアREIT市況

＜S&PシンガポールREITインデックス
(トータルリターン・円ベース) とS&P香港REIT
インデックス (トータルリターン・円ベース) の推移＞



アジアREIT市場は上昇しました。新型コロナウイルスの感染による都市封鎖の解除を受けて徐々に上昇する展開となりました。9月に上昇のけん引役だったハイテク株を中心に株式市場が軟調に転じたことからアジアREIT市場も反落し、その後も欧米での感染者数拡大や大統領選挙の不透明感を背景に下落基調となりました。11月にワクチン開発の進展から経済の正常化期待が広がる、アジアREIT市場は大きく反発し、作成期末にかけて堅調な動きとなりました。

●為替市況

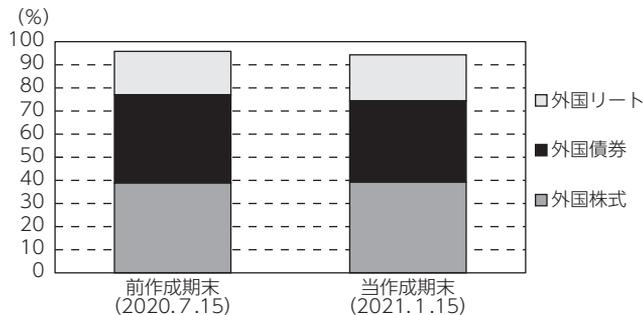
外国為替市場では、米ドルが対円で下落しました。堅調に推移した米国株式市場に下支えされる場面があったものの、景気の先行き不透明感が根強い中で、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和の長期化観測などから、軟調な動きとなりました。作成期末にかけても、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、金融緩和の長期化が再度意識されたこともあり、米ドルの対円での下落傾向は継続しました。

ポートフォリオについて

●アジア3資産ファンド 分配コース

各マザーファンドの組入比率は、アジア好配当株マザーファンド40%程度、アジア債券マザーファンド40%程度、アジアREITマザーファンド20%程度とし、組入比率の合計は高位を維持しました。

<資産別組入比率の推移>

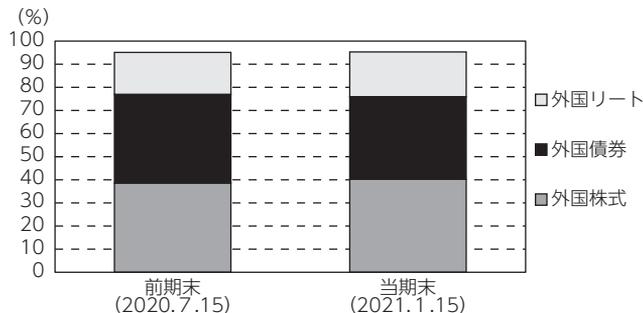


(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を用いております。

●アジア3資産ファンド 資産形成コース

各マザーファンドの組入比率は、アジア好配当株マザーファンド40%程度、アジア債券マザーファンド40%程度、アジアREITマザーファンド20%程度とし、組入比率の合計は高位を維持しました。

<資産別組入比率の推移>



(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を用いております。

●アジア好配当株マザーファンド

業種別では、金融・情報技術への積極的な組入れを維持した一方、通信・不動産の組入れを縮小しました。国別では、中国・台湾・韓国への高位の配分比率を維持しつつ、マレーシアなどへの組み入れを増やした一方、タイやシンガポールの組み入れなどを減らしました。個別銘柄では、台湾・韓国の半導体・電子部品関連の主力銘柄で配当利回りの高い銘柄の組み入れ比率を引き上げました。

○業種別上位組入比率

No.	業種	組入比率
1	銀行	15.4%
2	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	14.8
3	半導体・半導体製造装置	12.1
4	メディア・娯楽	8.6
5	小売	7.3
6	保険	6.5
7	各種金融	4.8
8	電気通信サービス	4.6
9	資本財	3.9
10	エネルギー	2.7

(注) 組入比率は、アジア好配当株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

●アジア債券マザーファンド

日本を除くアジア諸国（地域を含む）の政府機関および企業等が発行する公社債に投資し、安定した利息収入の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して分散投資を行いました。当作成期末時点では中国、インドを高位に組み入れ、ポートフォリオを構築しました。また、インドネシアに関しては、一部インドネシアルピア建ての債券も保有しております。セクター別では、不動産、銀行などを高位に組み入れました。

○国・地域別上位組入比率

No.	国名、地域など	組入比率
1	ケイマン諸島	26.4%
2	イギリス領ヴァージン諸島	19.6
3	インド	8.9
4	インドネシア	6.9
5	シンガポール	5.6
6	韓国	5.5
7	フィリピン	5.5
8	香港	3.8
9	タイ	3.7
10	中国	2.0

(注1) 組入比率は、アジア債券マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国名は発行国（法人登録国または地域）を基に表示していません。

●アジアREITマザーファンド

当作成期中の運用については、保有資産価値などの観点から割安と見込まれる銘柄に加え、財務体質が健全で経営に柔軟性のある銘柄、底堅い収益成長が期待される銘柄などに選別投資を行いました。作成期中では新規に韓国のREITを買い付けるなどのポートフォリオの調整を行いました。地域別では、シンガポールに7割程度、香港に3割程度配分しました。REITの組入比率は高位を維持しました。なお、外貨建資産に対する為替ヘッジは行いませんでした。

○市場別上位組入比率

No.	市場	組入比率
1	シンガポール市場	70.6%
2	香港市場	22.9
3	韓国市場	5.0
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

(注) 組入比率は、アジアREITマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

■ アジア3資産ファンド 分配コース

■ 分配金

当作成期の収益分配金は、利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、基準価額の水準や市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2020年7月16日 ~2020年8月17日	2020年8月18日 ~2020年9月15日	2020年9月16日 ~2020年10月15日	2020年10月16日 ~2020年11月16日	2020年11月17日 ~2020年12月15日	2020年12月16日 ~2021年1月15日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.34%	0.34%	0.34%	0.34%	0.33%	0.32%
当期の収益	30円	7円	13円	21円	24円	15円
当期の収益以外	-円	22円	16円	8円	5円	14円
翌期繰越分配対象額	980円	958円	942円	933円	927円	912円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

■ 分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2020年7月16日 ～2021年1月15日
当期分配金（税引前）	140円
対基準価額比率	1.05%
当期の収益	140円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,250円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●アジア3資産ファンド 分配コース

アジア好配当株マザーファンドへ40%、アジア債券マザーファンドへ40%、アジアREITマザーファンドへ20%の組み入れを行い、組入比率の合計は高位を維持する方針です。

●アジア3資産ファンド 資産形成コース

アジア好配当株マザーファンドへ40%、アジア債券マザーファンドへ40%、アジアREITマザーファンドへ20%の組み入れを行い、組入比率の合計は高位を維持する方針です。

●アジア好配当株マザーファンド

アジア新興国の国々は、米欧先進諸国と比べ、新型コロナウイルスによる経済へのマイナスの影響が限定的で、株式市場は、中国・台湾・韓国が牽引する形で、引き続き堅調な相場展開が予想されます。

当ファンドでは持続的な配当支払いや配当成長が期待できる個別銘柄への選別投資に注力します。今後も収益期待が安定的に拡大すると見込まれる情報技術銘柄や、中国の金融銘柄などに注目していく方針です。

●アジア債券マザーファンド

アジア債券市場は、比較的新型型コロナウイルスの影響が軽微にとどまる中、米国での低金利環境継続や新型コロナウイルスのワクチン開発に対する期待もあり、底堅い動きを想定しています。このような中、主としてアジアの企業等が発行する米ドル建て債券に分散投資を行います。また、長期的な視点から通貨の上昇が期待されるアジア通貨建て債券について、各国の経済・市場動向を見ながら選別して保有する方針です。

●アジアREITマザーファンド

アジア地域では、再び新型コロナウイルスの感染再拡大が見られるものの、ワクチン普及による経済の正常化期待から景気敏感なセクターの反発に繋がっています。主要国の財政・金融政策もREIT市場に追い風となっている状況が続くと見られます。引き続き、保有資産価値などの観点から割安と見込まれる銘柄に加えて、財務体質が健全で有能な経営陣に運営されている銘柄や底堅い収益成長が期待される銘柄などに注目していく方針です。

お知らせ

■当ファンドが投資対象とする「アジア債券マザーファンド」は、円の余資運用以外の運用の指図に関する権限について約款の変更を行いました。

変更内容：

ルूमス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーは、アジア債券マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部（債券等の取引執行の一部）を、子会社であるルूमス・セイレス・インベストメンツ・アジア・ピー・ティー・イー・リミテッドに再委託します。

(2020年11月2日)

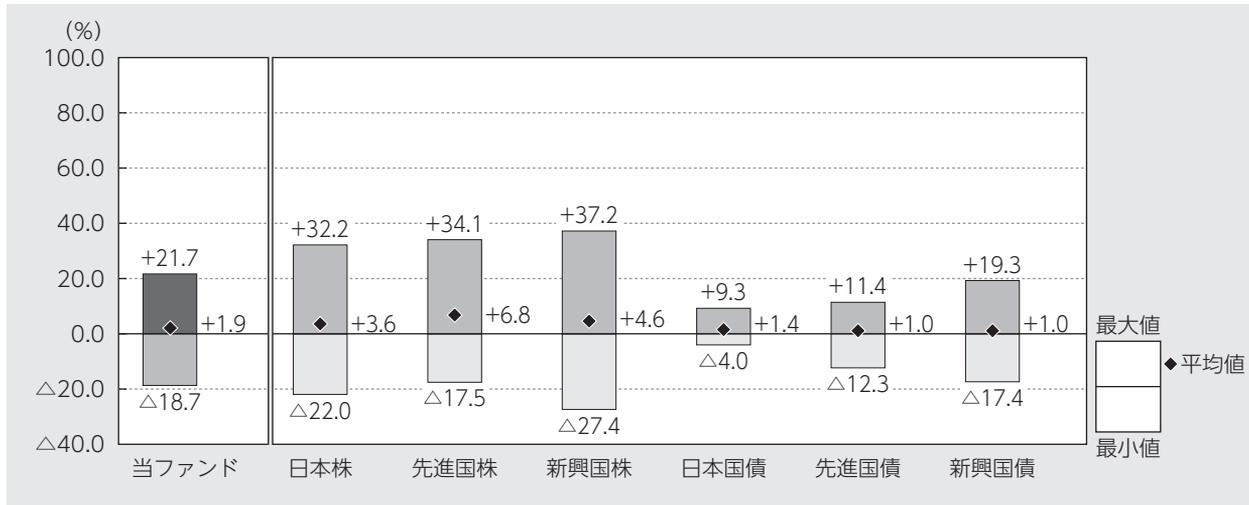
当ファンドの概要

■ アジア3資産ファンド [分配コース・資産形成コース]

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2007年7月31日から無期限です。	
運用方針	主として、日本を除くアジア諸国（地域を含みます。以下同じ。）の株式、公社債および不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。以下同じ。）に分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	アジア3資産ファンド [分配コース・ 資産形成コース]	アジア好配当株マザーファンド受益証券、アジア債券マザーファンド受益証券およびアジアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アジア好配当株 マザーファンド	日本を除くアジア諸国の株式（DR [預託証券] を含みます。）のうち、企業の利益成長が見込まれ、かつ相対的に高い配当利回りが期待できる銘柄を主要投資対象とします。
	アジア債券 マザーファンド	日本を除くアジア諸国の政府、政府機関および企業等が発行する公社債を主要投資対象とします。
	アジアREIT マザーファンド	日本を除くアジア諸国の外国金融商品市場および外国金融商品市場に準ずる市場に上場しているおよび上場予定の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>アジア諸国*の株式、公社債および不動産投資信託証券（リート）へ分散投資を行います。 ※日本およびオセアニアは除きます。（以下同じ。） 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 各資産への投資は、各マザーファンドを通じて行い、マザーファンド受益証券への投資比率は、高位を維持することを基本とします。 アジア好配当株マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をフルトン・ファンド・マネジメント・カンパニー・リミテッドに委託します。 アジア債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。なお、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（債券等の取引執行の一部）を、子会社であるルーミス・セイレス・インベストメンツ・アジア・ピー・ティー・イー・リミテッドに再委託します。 アジアREITマザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限をAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。</p>	
分配方針	<p><分配コース> 第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利子・配当収入相当分を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。 毎年2月、5月、8月および11月の決算時には、基準価額の水準ならびに分配対象額等を勘案し、売買益等を上記で定める額に加え分配することを目指します。</p> <p><資産形成コース> 毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ アジア3資産ファンド 分配コース



2016年1月～2020年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

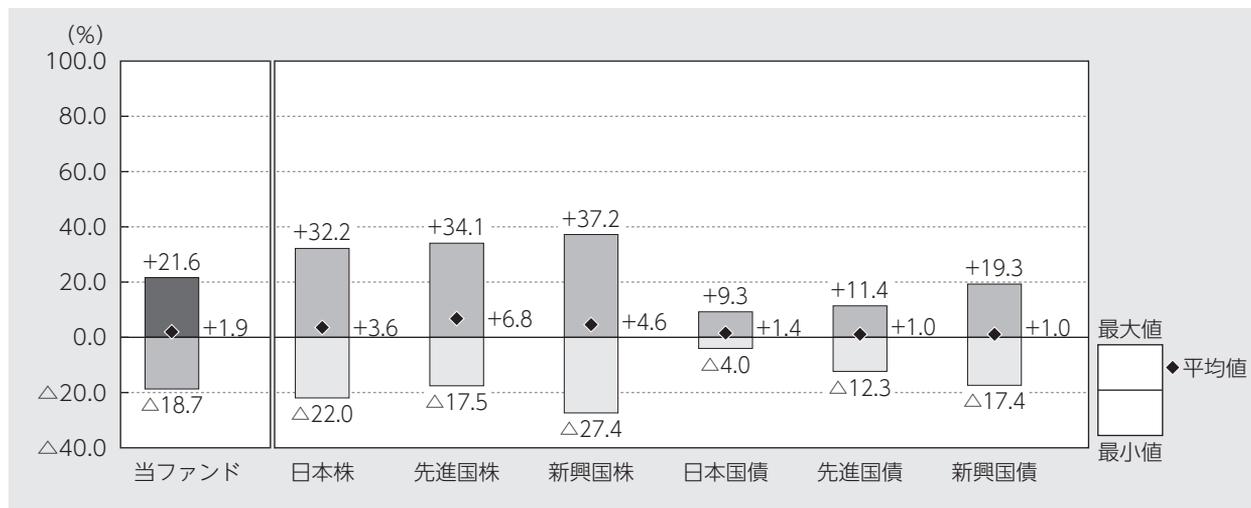
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

■ アジア 3 資産ファンド 資産形成コース



2016年1月～2020年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ アジア3資産ファンド 分配コース

当ファンドの組入資産の内容 (2021年1月15日現在)

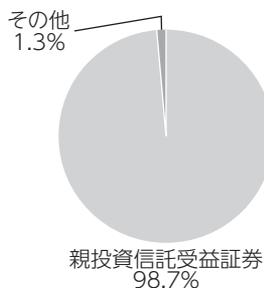
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：3ファンド)

	第161期末
	2021年1月15日
アジア好配当株マザーファンド	40.8%
アジア債券マザーファンド	37.8
アジアREITマザーファンド	20.2
その他	1.3

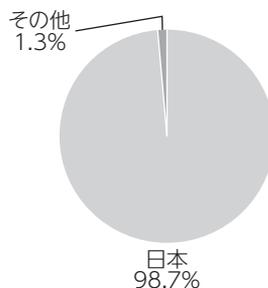
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

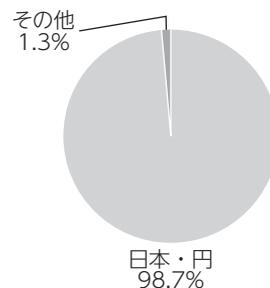
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
	2020年8月17日	2020年9月15日	2020年10月15日	2020年11月16日	2020年12月15日	2021年1月15日
純資産総額	1,708,657,499円	1,688,964,283円	1,688,121,001円	1,687,114,204円	1,696,891,999円	1,738,131,954円
受益権総口数	1,932,692,377口	1,926,198,533口	1,917,455,397口	1,907,178,790口	1,886,465,867口	1,870,277,354口
1万口当たり基準価額	8,841円	8,768円	8,804円	8,846円	8,995円	9,293円

(注) 当作成期間 (第156期～第161期) 中における追加設定元本額は17,835,851円、同解約元本額は110,607,752円です。

■ アジア3資産ファンド 資産形成コース

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2021年1月15日現在)

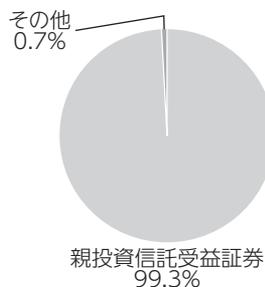
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：3ファンド)

	当期末
	2021年1月15日
アジア好配当株マザーファンド	41.4%
アジア債券マザーファンド	38.2
アジアREITマザーファンド	19.7
その他	0.7

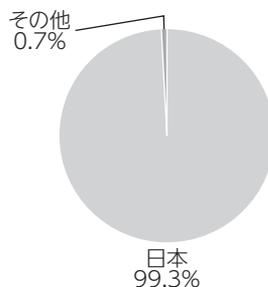
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

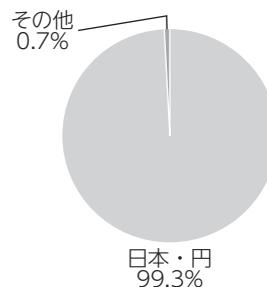
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

項目	当期末
	2021年1月15日
純資産総額	1,349,431,583円
受益権総口数	1,027,574,534口
1万口当たり基準価額	13,132円

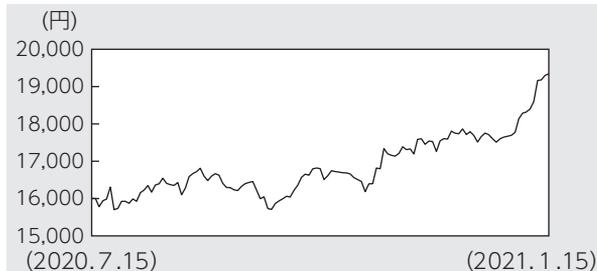
(注) 当期中における追加設定元本額は17,633,574円、同解約元本額は67,247,961円です。

■ アジア3資産ファンド [分配コース・資産形成コース]

■ 組入ファンドの概要

[アジア好配当株マザーファンド] (計算期間 2020年7月16日～2021年1月15日)

◆ 基準価額の推移



◆ 組入上位10銘柄

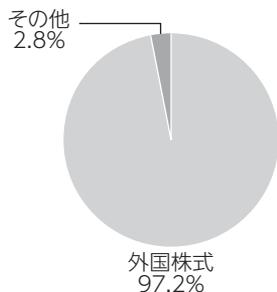
銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	9.5%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	8.9
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	6.5
AIA GROUP LTD	香港・ドル	3.4
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	3.1
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	3.0
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	2.6
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港・ドル	2.3
TECHTRONIC INDUSTRIES CO	香港・ドル	2.0
DELTA ELECTRONICS INC	台湾・ドル	2.0
組入銘柄数	66銘柄	

◆ 1万口当たりの費用明細

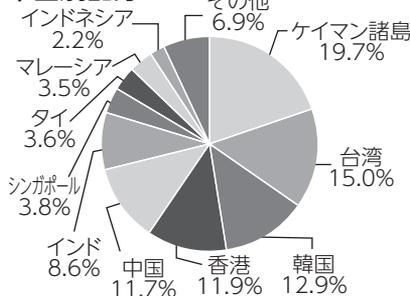
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	17円 (17)	0.100% (0.100)
(b) 有価証券取引税 (株式)	11 (11)	0.067 (0.067)
(c) その他費用 (保管費用)	35 (30)	0.206 (0.179)
(その他)	(5)	(0.027)
合計	63	0.373

期中の平均基準価額は16,872円です。

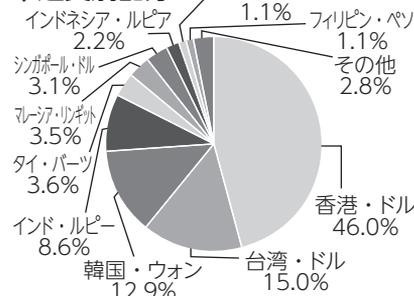
◆ 資産別配分



◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分については発行国(地域)で表示しております。

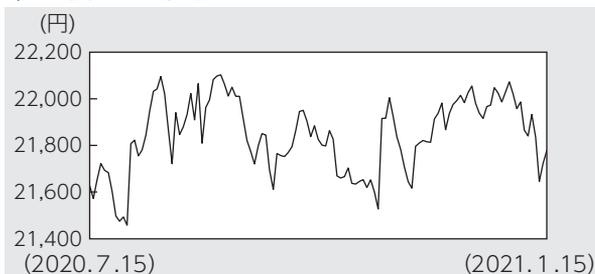
(注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[アジア債券マザーファンド] (計算期間 2020年7月16日～2021年1月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

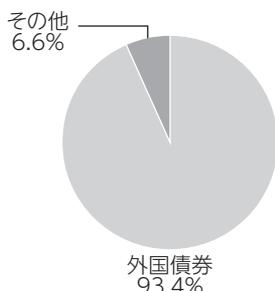
銘柄名	通貨	比率
SUN HUNG KAI PROPERTIES 3.625 01/16/23	アメリカ・ドル	2.3%
BANK OF CHINA 5.0 11/13/24	アメリカ・ドル	2.0
LLPL CAPITAL PTE LTD 6.875 02/04/39	アメリカ・ドル	2.0
PERUSAHAAN GAS NEGARA 5.125 05/16/24	アメリカ・ドル	2.0
CITIC LTD 3.7 06/14/26	アメリカ・ドル	1.9
KOREA GAS CORP 2.25 07/18/26	アメリカ・ドル	1.9
SM INVESTMENTS CORP 4.875 06/10/24	アメリカ・ドル	1.9
CIFI HOLDINGS GROUP 5.95 10/20/25	アメリカ・ドル	1.9
CK HUTCHISON INTL 19 II 2.75 09/06/29	アメリカ・ドル	1.9
PLDT INC 3.45 06/23/50	アメリカ・ドル	1.9
組入銘柄数	52銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

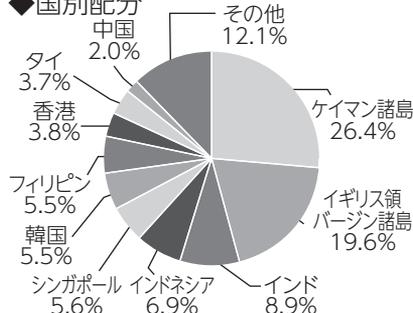
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	6円 (6)	0.029% (0.029)
合計	6	0.029

期中の平均基準価額は21,845円です。

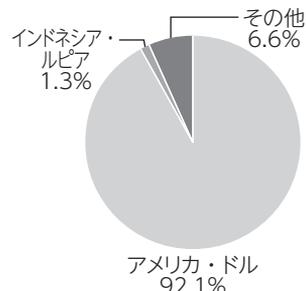
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

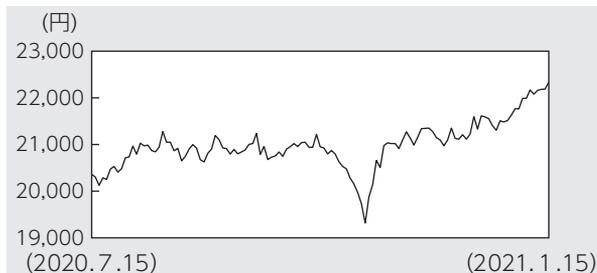
(注6) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[アジアREITマザーファンド] (計算期間 2020年7月16日～2021年1月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

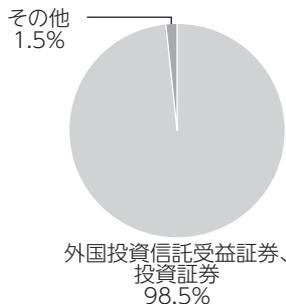
銘柄名	通貨	比率
LINK REIT	香港・ドル	22.9%
CAPITALAND INTEGRATED COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	13.0
ASCENDAS REAL ESTATE INVNT	シンガポール・ドル	10.0
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	7.5
CAPITALAND RETAIL CHINA TRUST	シンガポール・ドル	6.4
MAPLETREE NORTH ASIA COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	6.1
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	シンガポール・ドル	5.7
ESR KENDALL SQUARE REIT CO LTD	韓国・ウォン	5.0
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST	シンガポール・ドル	4.6
KEPPEL REIT	シンガポール・ドル	3.7
組入銘柄数	16銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

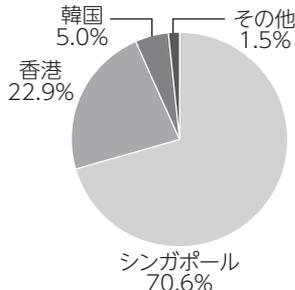
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	22円 (11) (11)	0.104% (0.053) (0.051)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券)	5 (5)	0.022 (0.022)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	30 (30) (0)	0.142 (0.141) (0.001)
合計	56	0.268

期中の平均基準価額は20,995円です。

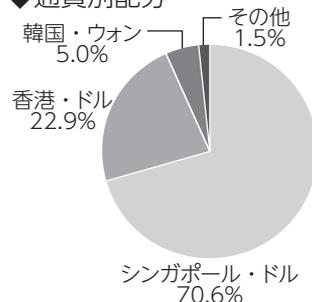
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドが組み入れているマザーファンドの参考指数について>

●MSCI AC アジア指数 (除く日本・円ベース)

「MSCI AC アジア指数(除く日本・円ベース)」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●J Pモルガン・アジア・クレジット・インデックス (除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)

「J Pモルガン・アジア・クレジット・インデックス(除く日本・為替ノーヘッジ・円ベース)」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●S & PシンガポールREITインデックス (トータルリターン・円ベース) およびS & P香港REITインデックス (トータルリターン・円ベース)

「S & PシンガポールREITインデックス(トータルリターン・円ベース)」および「S & P香港REITインデックス(トータルリターン・円ベース)」は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。

S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、同指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数(TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「J PモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

